

生産性を飛躍的に向上させる高圧スルークーラントシステム ‘SUPERFLOW V30C-J’

ヤマザキマザック株式会社(社長:山崎智久、愛知県大口町、TEL:0587-95-1131)は、生産性を飛躍的に向上させる**高圧スルークーラントシステム‘SUPERFLOW V30C-J’**の販売を開始しました。

弊社米国法人マザックコーポレーションで開発し、北米地区で既に 3,000 台以上の納入実績があり、日本国内の社内設備で導入している高圧スルークーラントシステムを、このたび 国内で生産し販売することになりました。

高圧スルークーラントは、切削工具の加工点に効率的に供給することにより切削加工で発生する熱を分散します。この結果、切削工具の刃先摩耗を防ぎ、切削速度を上げることが可能となり、生産性を向上させます。また、切削加工で発生する切り屑を高圧で強制的に分断することで、切り屑のからみつきや詰まりによる加工面へのダメージや工具折損、機械停止を防ぎます。

特に、航空機産業や医療産業等で使用される難削材加工では生産性の向上と工具寿命の延長に大きな効果が実証されています。

‘SUPERFLOW V30C-J’は、自社開発の専用インターフェースを備え、工作機械本体とスムーズな連携が可能となるため、M コードによりクーラント圧力(0~7MPa)を自由に設定・制御し、高圧クーラントの効果を最大限に発揮します。

また、ダイヤフラム式ポンプを採用することで、省エネに貢献するだけでなく、内部へのスラッジ混入等によるポンプ寿命の劣化の懸念も抑えられます。合わせて、高い濾過性能を持つサイクロン式フィルタを採用したことで、フィルタ交換等のわずらわしい保全作業を大幅に低減しました。



お問合せ先 : ヤマザキマザック株式会社 経営企画室 広報担当
TEL:0587-95-6849 www.mazak.jp

掲載されているプレスリリース内容は、報道関係者へ発表した情報の要約です。
ご覧の時点で予告無く情報変更が行われている場合がありますので、あらかじめご了承ください